

8月臨時会 令和2年度一般会計補正予算(第6号)の概要

補正額 6億2,846万9千円

補正後の予算額 644億5,372万7千円

防災資機材整備費 増 2,550万円

災害時の広域避難所等における新型コロナウイルス感染症対策として、飛沫感染予防のためのパーティションや非接触型電子温度計の整備等に要する費用。



地域経済応援事業費 増 3億6,500万円

新型コロナウイルス感染症の影響により減少している市内消費の喚起と市民の暮らしの支援を促進するため、市内取扱店舗で使用可能なプレミアム付商品券を発行する費用。



学校教育情報化推進事業費 増 6,472万円

オンライン学習の充実を図るため、学校からのネット回線を増強する費用。家庭にネット環境がない子どもへの貸し出し用ポケットWi-Fiを整備する費用。



常任委員会委員長報告

補正予算
関係抜粋

令和2年度補正予算関係議案などを審査するため、3つの常任委員会に付託され、以下の質問がありました。

総務委員会 委員長 小沼秀朗

タブレットを活用した防災対策について

Q 防災対策用タブレットの管理運営方法と導入に向けた今後のスケジュールを伺う。

A 市内238の自主防災会に配付予定で、9月から購入を進める計画です。管理運営方法については、今後、自主防災会及び自治会と協議していきます。

コロナ禍における救急活動について

Q 救急活動に必要な被服の購入数を伺う。

A 新型コロナウイルス感染症禍において、本年度は使い捨てガウン500着の使用を想定し、300着程度、追加購入する予定です。

環境産業委員会 委員長 山本裕三

掛川城周辺施設管理費について

Q 掛川城バーチャル体験コンテンツ開発について、至った経緯を伺う。

A 新しい文化の体験づくりを進めるために、既存の掛川城の点群データを活用することを考えました。

地域経済応援事業費について

Q 事務費が大きく占めているが、プレミアム付商品券の利用率向上策について伺う。

A 消費拡大が見込める12月、1月に使用していただけるよう周知していくことで、利用率向上につながっていくと考えます。

文教厚生委員会 委員長 窪野愛子

魅力ある小学校づくり推進費について

Q 安定したインターネット環境が整っている家庭が9割とのことであるが、その中にはスマートフォンだけの家庭も含まれているのか。

A スマートフォンのみの家庭は含みません。

8月臨時会における審議結果

「令和2年度掛川市一般会計補正予算(第6号)について」は全会一致で可決されました。